



2023年5月9日

各 位

会 社 名 マックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒沢 光照
(コード番号 6454 東証プライム)
問合せ先 常務取締役上席執行役員 角 芳尋
(T E L 03-3669-8106)

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2022年10月28日に開示いたしました「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします(訂正箇所は___線で示しております)。また、数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、記載内容について一部誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正の内容

(1) 添付資料4ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する説明

【訂正前】

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が 11億5千6百万円増加したことにより、244億5千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、26億3百万円となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が56億9千6百万円、減価償却費が14億5千3百万円、一方で主な減少は、売上債権の増減額が15億6千9百万円、棚卸資産の増減額が12億7千8百万円、法人税等の支払額が19億5千6百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、2億3千万円となりました。主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が18億1千8百万円、一方で主な減少は、有形固定資産の取得による支出が12億6千7百万円です。

【訂正後】

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が11億1千4百万円増加したことにより、235億4千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、26億3百万円となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が56億9千6百万円、減価償却費が14億5千3百万円、一方で主な減少は、売上債権の増減額が15億6千9百万円、棚卸資産の増減額が12億7千8百万円、法人税等の支払額が19億5千6百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、2億3千8百万円となりました。主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が18億1千8百万円、一方で主な減少は、有形固定資産の取得による支出が12億6千7百万円です。

(2) 添付資料 10, 11 ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,202	△202
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,100	1,818
有形固定資産の取得による支出	△2,646	△1,267
有形固定資産の除却による支出	—	△10
有形固定資産の売却による収入	5	4
無形固定資産の取得による支出	△92	△136
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	16	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,819	230
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△744	△0
配当金の支払額	△2,288	△3,023
リース債務の返済による支出	△125	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,158	△3,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	154	1,478
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,062	1,156
現金及び現金同等物の期首残高	21,421	23,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,359	24,458

【訂正後】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	<u>△189</u>
定期預金の払戻による収入	—	<u>198</u>
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,202	△202
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,100	1,818
有形固定資産の取得による支出	△2,646	△1,267
有形固定資産の除却による支出	—	△10
有形固定資産の売却による収入	5	4
無形固定資産の取得による支出	△92	△136
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	16	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△2,819</u>	<u>238</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△744	△0
配当金の支払額	△2,288	△3,023
リース債務の返済による支出	△125	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△3,158</u>	<u>△3,156</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	154	<u>1,428</u>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>△3,062</u>	<u>1,114</u>
現金及び現金同等物の期首残高	21,421	<u>22,435</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,359	<u>23,549</u>

以上